



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月6日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <https://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉崎 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 所 聡

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 41,316 | 33.0 | 6,372 | 139.8 | 6,697 | 147.2 | 5,632 | 172.8 |
| 2023年3月期第3四半期 | 31,055 | 54.3 | 2,657 | | 2,709 | | 2,064 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 153.06 | |
| 2023年3月期第3四半期 | 56.11 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 90,353 | 34,451 | 38.1 |
| 2023年3月期 | 81,544 | 30,474 | 37.4 |

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 34,451百万円 2023年3月期 30,474百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | | 10.00 | | 25.00 | 35.00 |
| 2024年3月期 | | 20.00 | | | |
| 2024年3月期(予想) | | | | 30.00 | 50.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 55,000 | 27.7 | 7,500 | 56.9 | 8,300 | 75.7 | 7,000 | 59.5 | 190.23 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]P.7「(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2024年3月期3Q | 36,800,000 株 | 2023年3月期 | 36,800,000 株 |
| 2024年3月期3Q | 1,495 株 | 2023年3月期 | 1,495 株 |
| 2024年3月期3Q | 36,798,505 株 | 2023年3月期3Q | 36,798,600 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計上の見積りの変更) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 3. その他 | 8 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の環境が改善する中、緩やかな回復基調となりました。一方で円安影響も含めた資源や原材料価格の高止まり、物価高によるインフレや人手不足の問題が顕在化しております。また、海外経済においても、各国での国境封鎖の解除や行動規制の緩和が進展するなどの好転事象はあるものの、米欧中央銀行による金融引き締めや中国での不動産市場停滞等を背景とした景気減速等、依然として先行き不透明な状況が懸念されます。

当社を取り巻く事業環境について、チタン事業におきましては航空機需要が回復から成長軌道となっていること及び世界的なチタンのサプライチェーン再編の影響が継続する中でスポンジチタンの需要は更に強まっております。他方、高機能材料事業では、一昨年秋からの半導体市場の低迷及び調整局面が継続しております。

こうした中、当第3四半期累計期間の売上高は、41,316百万円(前年同期比33.0%増)、営業利益は6,372百万円(前年同期比139.8%増)、経常利益は6,697百万円(前年同期比147.2%増)、四半期純利益は5,632百万円(前年同期比172.8%増)となりました。

事業別は以下の通りとなります。

チタン事業

当第3四半期累計期間におけるチタン事業の販売は数量増加と価格是正や円安により航空機用途向けが主体である輸出スポンジチタンの売上高が前年同期比45.0%増となりました。また、一般産業用途向け主体の国内スポンジチタンも堅調に推移し、同32.3%増となりました。結果、チタン事業の売上高は39,300百万円(前年同期比40.5%増)となりました。

損益につきましては、原燃料価格の上昇影響はあったものの、販売、生産数量の増加と販売価格是正や操業改善といった収益改善や海上輸送価格の軟化、円安効果等により営業利益は6,611百万円(前年同期比175.8%増)となりました。

高機能材料事業

当第3四半期累計期間における高機能材料事業の販売は半導体関連のスパッタリングターゲット用高純度チタンの売上高が減少したことにより、売上高は2,015百万円(前年同期比34.7%減)となりました。

損益につきましては、同製品の販売減影響が大きく営業損失は239百万円(前年同期は260百万円の利益)となりました。

(参考)

事業別売上高

(単位：百万円)

| | | 当第3四半期累計期間 | 前年同期 | 増減率(%) |
|---------|----|------------|--------|--------|
| チタン事業 | 国内 | 13,128 | 9,922 | 32.3 |
| | 輸出 | 26,172 | 18,044 | 45.0 |
| | 計 | 39,300 | 27,967 | 40.5 |
| 高機能材料事業 | | 2,015 | 3,087 | △34.7 |
| 合計 | | 41,316 | 31,055 | 33.0 |

事業別営業利益

(単位：百万円)

| | | 当第3四半期累計期間 | 前年同期 | 増減率(%) |
|---------|--|------------|-------|--------|
| チタン事業 | | 6,611 | 2,397 | 175.8 |
| 高機能材料事業 | | △239 | 260 | - |
| 合計 | | 6,372 | 2,657 | 139.8 |

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、90,353百万円と前事業年度末と比べ8,808百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が減少したものの売掛金及び棚卸資産が増加したことが主な要因であります。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、55,902百万円と前事業年度末と比べ4,832百万円増加いたしました。これは、未払金及び買掛金等が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、34,451百万円と前事業年度末と比べ3,976百万円増加いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年11月7日公表の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年2月6日)公表いたしました「2024年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2023年11月7日公表の「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて報告いたしましたセグメント別の通期業績見通しにつきましても上記の通期の業績予想の修正に伴い修正が生じておりますので下記のとおり改めて報告いたします。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

①2024年3月期 通期(2023.4.1~2024.3.31)

(単位:百万円)

| セグメント | | 前回報告 (A) | 今回修正 (B) | 増減額 (B-A) |
|-------|---------|-------------|-------------|--------------|
| 売上高 | チタン事業 | 51,000 | 52,000 | 1,000 |
| | 高機能材料事業 | 3,000 | 3,000 | — |
| | 合計 | 54,000 | 55,000 | 1,000 |
| 営業利益 | チタン事業 | 7,400 | 7,800 | 400 |
| | 高機能材料事業 | △300 | △300 | — |
| | 合計 | 7,100 | 7,500 | 400 |

②修正理由

2024年3月期の通期業績予想につきまして、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、第3四半期までの為替相場が円安基調で推移したこと等により前回予想値に対して増収、増益となる見通しであります。

なお、2024年3月期第4四半期会計期間以降の為替水準につきましては1US\$=140円を前提としております。

2024年3月期の期末配当予想につきましては、2024年3月期通期業績予想が当初予想を上回ったため、1株当たり30円に修正させていただきます。この結果、年間配当金は1株当たり50円となる予定であります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年12月31日) |
|------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,971 | 3,637 |
| 売掛金 | 16,139 | 22,329 |
| 商品及び製品 | 11,001 | 11,039 |
| 仕掛品 | 3,932 | 3,856 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,957 | 14,233 |
| その他 | 205 | 201 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 流動資産合計 | 46,205 | 55,295 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 8,755 | 8,477 |
| 機械及び装置（純額） | 7,795 | 7,669 |
| 土地 | 14,823 | 14,823 |
| 建設仮勘定 | 1,324 | 1,324 |
| その他（純額） | 358 | 470 |
| 有形固定資産合計 | 33,058 | 32,766 |
| 無形固定資産 | 937 | 1,030 |
| 投資その他の資産 | 1,344 | 1,260 |
| 固定資産合計 | 35,339 | 35,057 |
| 資産合計 | 81,544 | 90,353 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,730 | 6,231 |
| 短期借入金 | 16,000 | 6,700 |
| 未払金 | 159 | 2,528 |
| 未払法人税等 | 714 | 833 |
| 未払消費税等 | - | 966 |
| 設備関係未払金 | 902 | 663 |
| 賞与引当金 | 315 | 96 |
| その他 | 330 | 525 |
| 流動負債合計 | 23,152 | 18,545 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 24,500 | 33,800 |
| 資産除去債務 | 1,515 | 1,534 |
| 退職給付引当金 | 1,833 | 1,953 |
| その他 | 69 | 69 |
| 固定負債合計 | 27,917 | 37,356 |
| 負債合計 | 51,070 | 55,902 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,739 | 8,739 |
| 資本剰余金 | 8,943 | 8,943 |
| 利益剰余金 | 12,802 | 16,778 |
| 自己株式 | △10 | △10 |
| 株主資本合計 | 30,474 | 34,451 |
| 純資産合計 | 30,474 | 34,451 |
| 負債純資産合計 | 81,544 | 90,353 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-------------|--|--|
| 売上高 | 31,055 | 41,316 |
| 売上原価 | 25,222 | 31,156 |
| 売上総利益 | 5,832 | 10,159 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,175 | 3,787 |
| 営業利益 | 2,657 | 6,372 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 15 | 34 |
| 為替差益 | - | 305 |
| 不用品売却益 | 140 | 136 |
| 受取賃貸料 | 29 | 34 |
| その他 | 75 | 10 |
| 営業外収益合計 | 261 | 521 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 142 | 161 |
| 為替差損 | 28 | - |
| 休止固定資産減価償却費 | 5 | 0 |
| 割増退職金 | 31 | 24 |
| その他 | 2 | 9 |
| 営業外費用合計 | 210 | 196 |
| 経常利益 | 2,709 | 6,697 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 93 | - |
| 特別利益合計 | 93 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 54 | 39 |
| 減損損失 | 260 | - |
| 特別損失合計 | 315 | 39 |
| 税引前四半期純利益 | 2,487 | 6,657 |
| 法人税等 | 422 | 1,024 |
| 四半期純利益 | 2,064 | 5,632 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として13年で費用処理をしておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期会計期間より費用処理年数を11年に変更しております。

この変更が、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(ウクライナ情勢の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度末に行った、ウクライナ情勢の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|---------|---------|--------|
| | チタン事業 | 高機能材料事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,967 | 3,087 | 31,055 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 27,967 | 3,087 | 31,055 |
| セグメント利益 | 2,397 | 260 | 2,657 |

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

各報告セグメントに配分していない全社資産の減損損失260百万円を計上しております。

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|---------|---------|--------|
| | チタン事業 | 高機能材料事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 39,300 | 2,015 | 41,316 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 39,300 | 2,015 | 41,316 |
| セグメント利益又は損失(△) | 6,611 | △239 | 6,372 |

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。